



▲本番の避難所運営しながら白熱するグループ協議

### 男女共同参画人材育成セミナー事業 避難所運営ゲームで学ぶ男女共同参画

男女共同参画人材育成セミナー事業として「HUGから考える災害時の男女共同参画」を3月22日に開催。危機管理士の資格を持つ宮木裕子さんを講師に招き、13人の市民が参加しました。

次から次に避難してくる人たちへの対応に加え、仮設トイレが避難所に届くまでトイレはどのようにするのか、炊き出しをする場所をどこにするか、ペットの対応をどうするかなどをグループで協議しました。また、HUG終了後には、今回の主旨である男女共同参画の視点で振り返りを行い、意志決定の場に女性が参画することの大切さを学んでいました。



▲九州工業大学の伊東啓太郎教授の話に耳を傾ける参加者

### ふくつ環境シンポジウム2022 ゼロカーボンシティをめざして

ふくつ環境シンポジウムを3月25日に市立図書館で開催しました。今年度は「見つめてみよう、ふくつの身近な自然～ゼロカーボンシティをめざして～」と題して、6つの視点から、さまざまな有識者や団体が講演。市内での環境保全活動の内容や環境保全活動を持続的に進めるための体制づくり、30by30などの話について、参加者はメモを取りながら興味深そうに聞いていました。

※30by30=2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させるというゴールに向け、陸と海の30%以上を健全な生態系として、効果的に保全しようとする目標のこと

### 第7回 ふくつの古墳まつり 新原・奴山古墳群でさまざまな催し

新原・奴山古墳群とカメラアステージで、3月1日から3月26日にかけて第7回ふくつの古墳まつりが開催されました。

最終日の新原・奴山古墳群では、古代の衣装に身を包んだ古墳ガイドによるミニツアーや弓矢の当て、馬蹄を使った輪投げ、2回のしゃぼん玉ショーなど、さまざまな催しが行われました。また、将来的に石室の公開を予定している34号墳の現地説明会には、200人以上が参加。参加者は実際に古墳に上り、石室の中をのぞき込むなど、今しか見られない貴重な姿を目に焼き付けていました。



▲真剣な表情で弓矢の的当てをする親子

### 令和4年度福岡県商工女性主張のつどい 最優秀賞を受賞

商工会女性部主張発表福岡県大会が2月6日に開催され、市商工会女性部の増田美佐子さんが最優秀賞である県知事賞を受賞しました。

3月29日に原崎市長を表敬訪問した増田さんは、実際に発表した内容を市長の前で披露。「ご乗車ありがとうございます」と、馬車に乗るときと同じ案内でスタート。古墳のPR活動のほか、馬車やポニーとの出会いと別れ、市商工会女性部の活動の歴史や、コロナ禍だからこそ、困っているときに協力してくれる商工会女性部の仲間の大切さを実感したことなどを紹介しました。



▲笑顔で表彰状を持つ増田さん(左)



発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を子育て支援センターなかよしに持参するか市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限り、データの持ち込みは受け付けられません。毎号先着24人で、8月生まれの赤ちゃんは6月21日(水)が受付期限です。受付、問い合わせ 子育て支援センターなかよし(ふくとぴあ) ☎35・8382 休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日



### 令和5年度消防団辞令交付式 福津を守る頼もしい新入団員

令和5年度福津市消防団辞令交付式を4月7日に行いました。副団長や分団長、女性班長などに松岡団長から辞令が渡されました。また今年度は14人が新しく入団。新入団員を代表して花田晃利さんが福津を守っていく決意を高らかに宣誓しました。



▲起立する新入団員を背に決意を述べる花田さん

### 青少年アンビシャス運動の推進に貢献 地域の子どもの成長のお手伝い

「福間南小校区アンビシャス広場」が3月21日に県から表彰されました。青少年アンビシャス運動とは、健全な青少年の育成を目指す福岡県の運動です。地域全体で子どもを育てようという意識があり、協力体制がとれていることが評価されました。



▲左から井土哲史さん、船越重利さん、原崎市長